

2009 年度 第 4 回 臨床研究審査委員会
会議の記録の概要

開催日	平成 21 年 7 月 22 日(水)
開催場所	国立病院機構 岡山医療センター 4 階 研修室 1
出席委員名	<p>山内芳忠(委員長 臨床研究部長 新生児科) 三河内 弘(副委員長 副院長 循環器科医師) 東 良平(統括診療部長 呼吸器外科医師) 角南一貴(血液内科医長)、福原 徹(脳神経外科医師)、要田貴弘(事務部長) 三浦麗子(看護部長)、市場泰全(薬剤科長)、山鳥一郎(臨床検査科長 医長) 大熊克美(企画課長)、阿部浩二(外部委員) 久保俊英(小児科主任医長)、守屋 明(外部委員):欠席</p>
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>1. 「運動療法における心機能変化に関する予備的検討」 - 自主臨床研究 - < 申請者 > リハビリテーション科 理学療法士 - 中山知香 < 概要 > 運動機能と相関するのは拡張能であり、心機能低下例や心拡大例においても運動により心室リモデリングを起こさず運動耐用能の改善がおこることが明らかとなっている。しかし運動時の拡張能変化は明らかにされていないため、今回エコー所見にて運動直後の心機能を評価し、運動療法が心拡張能に与える効果やリスクに関する因子について検討する。拡張能障害のない症例(健常者)との比較を行い検討する。有酸素運動の指標として心肺運動負荷試験(CPX)から算出されたAT値(有酸素運動から無酸素運動に切り替わる直前の値)に基づいたワット数を用い、有酸素運動を自転車エルゴメーターにて 20 分運動を行う。そして運動前・運動直後の心エコー所見を比較する。 < 判定 > 承認</p> <p>*****</p> <p>2. 「肺 MAC 症に関する治療方法の検討」 - 岡山抗酸菌症治療研究会 - < 申請者 > 呼吸器内科 副統括診療部長 - 佐藤利雄 < 概要 > 肺 MAC 症に対する CAM の保険適応 1 日最大投与量 800mg が承認されたこともあり、CAM を Key drug とした治療 Regimen に関して、治療効果(菌消失率、画像改善など)を中心に検討する。 また、今回、肺 MAC 症の治療 Regimen における CAM の耐性化防止という観点から、液体培地 BrothMIC NTM を用いて、CAM の薬剤感受性を測定し、併せて RFP, EB, SM, KM, LVFX, INH についても測定を行い、臨床効果との関連を検討する。 < 判定 > 承認</p>